

国立大学法人神戸大学
大学院海事科学研究科
附属練習船海神丸

乗船に際してのお願い及び注意事項等について
(教育共同利用等他機関等乗船者向け)

2022年4月

練習船「海神丸」の乗船にあたっては、以下の各事項をよく読んで、自身の安全を確保するようにしてください。なお、気象・海象条件や航路事情等により運航予定を変更する場合があります。

1. 船内秩序の維持へのご協力のお願い

船内秩序の維持にご協力をお願いします。船内秩序を著しく乱し、あるいは乱すおそれのある方に対しては中途での下船をしていただくことがあります。この場合、交通費・宿泊費等の一切について、当該個人の責に帰することとなります。

2. 服装

- ・ 乗船中は活動しやすい服装とともに、普段使用している帽子と名札（船側で準備します）を着用してください。特に、袖口やズボンの裾がひらいているもの、飾りのベルト等が出ているものなどは、平時や緊急時における船内行動に支障となり危険な場合がありますので避けてください。ショートパンツやスカートでは乗船できません。適当なズボンを着用してください。
- ・ 安全上、スリッパやサンダル・ハイヒール靴等での乗船できません。船体動揺 時にも動きやすく、靴底が滑りにくい靴（スニーカー等）を使用してください。
- ・ 実習や研修中は、感電や低温ヤケドを防止するために、ピアス、ネックレス等の貴金属類は身につけないでください。
- ・ 居住区等は空調で室温を調整（感染症対策として、船内を換気しています。）しています。個人により暑さ寒さの感覚が異なりますので、対策として必要な衣類を準備してください。
- ・ 居室からシャワー室を利用する際や洗面等、停泊中の夜間や早朝においては、スリッパ、サンダル等を使用してもかまいません。

3. 船内での行動について

- ・ 海中転落防止のため、船の外回りの舷側に寄りかからないでください。内側側壁にある手すりを手でしっかりと掴むんで姿勢を保持、または舷側から離れて移動してください。
- ・ 暴露甲板上では常に風下（ふうか；かざしも）側を移動してください。
- ・ 船の外回りにある甲板に出入りするときはハッチ・コーミングをまたいでください。
- ・ ドアの開閉は最後までノブをもって確実にしめてください。
- ・ 船内の通路や暴露甲板上では走ったり、飛び跳ねないでください。
- ・ 付属設備の上や椅子のある場所以外で座り込んだり、しゃがみこんだりしないでください。
- ・ 船内ではスイッチ類その他機器に手を触れないでください。

- ・ 居室の電灯スイッチを除き、船橋、機関室、船内各所にあるスイッチ類には絶対に操作しないでください。
- ・ 学生ホールは乗船者全員のための多目的ルームです。不用意に横になったり、専有しないでください。横になる場合は居室のベッドを使用してください。
- ・ 乗船後ベッドメイクを個々に行い、用意した布団カバー等は必ず使用してください。
- ・ 日帰りの航海においては特段の理由がある場合を除き、居室のベッドは使用できません。
- ・ 船上での、喫煙は前面禁止です。
- ・ 船上での、アルコール等の摂取は禁止です。
- ・ 暴露(外部)甲板への出入りは緊急非常時を除き、通常は上甲板後部甲板接続階段、船楼甲板右舷側船尾よりの出入り口及び船橋からのみとします。
- ・ 学外の岸壁着岸中は防犯上、船楼甲板右舷側船尾よりの出入口のみとします。(その他は全て施錠します)
- ・ 航海中の夜間は暴露甲板への出入りを禁止とします。実験・計測等でやむなく出入りする場合は当直航海士に必ず申し出のうえ、その指示に従ってください。
- ・ 機関区画への立ち入りは原則禁止とします。実験・計測等で同区画に立ち入る場合は、機関部当直者に許可を求め、その指示に従ってください。
- ・ 清水(せいすい：飲料水、雑用水)は船では貴重品です。船底の水タンクに保有する清水には限りがあります。節水をお願いします。温水等の流しっぱなしに注意してください。
- ・ シャワーの使用時間等は、別途指示します。
- ・ 洗面用具、入浴用具(シャンプー、ボディソープ等)は各自で準備してください。
- ・ 船内での洗濯はできません。必要な数の衣類等を準備してください。
- ・ 船内発生ゴミはすべて仕分けして持ち帰ります。不要物の海中投棄はしないでください。
- ・ 小動物の他、船内共同生活を阻害すると思われるものは持ち込み禁止です。
- ・ 人や船に危害を加えるおそれのある刃物、爆発物、危険物、薬品、劇物等についても持ち込み禁止です。
- ・ 貴重品や金銭は各自で責任を持って保管・管理してください。不要なものはできるだけ持ち込まないでください。
- ・ その他、必要と思われるものは各自で準備のうえ、乗船してください。

4. 緊急時について

- ・ 乗船中は緊急時の船内放送に常に注意してください。不測の事態が発生した場合は、船長及び乗組員の指示に従い、あわてずに、冷静に行動してください。
- ・ 航海中、万一異常な事態が発生した場合は直ちに付近にいる乗組員に連絡してください。

さい。

5. 海神丸の船舶電話番号について

090-3023-2838 (公用)

乗船中の家族等からの緊急連絡がある場合の連絡先として、家族等に周知しておいてください。

なお、大阪湾や瀬戸内海などでは携帯電話が通じる海域も多くあります。携帯電話の使用は、後部甲板等の外部デッキで、他の乗船者の迷惑にならない場所でご使用ください。